遅羽地区 市長と語る会 議事要旨

日時	令和6年6月5日（水）午後7時00分～午後8時30分
場所	遅羽まちづくり会館
出席者	43名

Q：質問 A：回答

1. 老人会への助成について

Q：老人会への助成金は有難いと思うが、使い道は運営全般に使えるようにしてほしい。

A：助成金の使い道については、国庫補助金が入っているためチェックが厳しくなっている。市単費の部分もあるので、そこで調整できないか検討したい。

2. 高齢者連合会について

Q：市高連の会員が減少し、運営自体困難になってきている。何か手立てをお願いしたい。

A：市高連も苦しい状況になっていることはお聞きしている。今年は市制施行70周年で綾小路きみまろさんのライブを開催する。市高連の会員には先行販売をしたいと思う。そういった形で、市高連の皆様には協力をいただきながらも、市としても支援をしていきたい。

3. 若者への支援について

Q：若者の減少対策について、大学の奨学金返済に困っている若者がいる。勝山市に戻って来た若者に対し、奨学金返還の支援をするなどできないか。また、若者のグループへの支援をお願いしたい。グループを作り交流を増やすと結婚等にもつながるのではないか。

A：市では2年前から貸与型の奨学金を廃止し、奨学金を借りていた人については、返済について金融機関の利子補給をしている。今後は給付型の奨学金へ切り替えたいと考えている。財源の事もあるので今後検討していきたい。グループへの補助金は、ちょいチャレ応援事業という制度があり、10万円から15万円の助成をしている。何かあれば未来創造課へ相談してほしい。

4. ゾーン30プラスについて

Q：成器西小学校でゾーン30プラスを整備しているが、各小学校に広げてほしい。市内には信号のない歩道が多いので考えてほしい。

A：ゾーン30プラスは基本的には警察の所管であり、警察署長も増やしたいと言っていた。地域のご協力が必要なので、こういったご提案があったことを警察署長に伝えたい。

5. 買い物支援について

Q：地区社協がやっている買い物支援は、みんなで誘い合って買い物にいけるのでありがたい。現在月2回であるが、週1回に増やしていただきたい。

A：地区社協の買い物支援が好評であったこと、回数を増やせないかというご意見があったことを担当にお伝える。

6. 防犯カメラの設置について

Q：先日見慣れない30代くらいの男性が集落内を歩いていた。不安に思ったので、防犯カメラを集落の入口等に設置できないか。

A：全ての人を警戒しなくても良いと思うが、防犯カメラの設置については区に対し助成がある。必要であれば区長と相談させていただく。

7. 豪雨災害について

Q：昨年の大雨災害で水路が埋まった箇所があり、4月に国交省の方に見に来ていただいた。対応については市へ要望してほしいと言われた。大袋区としては3件あったが、そのうちの2件は砂利が堆積しており、市に要望して施工開始まで待っているとまた水路が埋まってしまうので、地区へ土嚢袋を配布してもらえれば、区民でやりたいと思うのでお願いしたい。

A：原材料を助成する制度があるので対応可能である。詳細については担当課から区長へ説明に行かせたいと思う。

8. 防災拠点としてのまちづくり会館について

Q：このまちづくり会館は、防災拠点や避難所としての機能がない。備蓄品や情報収集機能についても拡充をお願いしたい。

A：ご意見があったことを持ち帰りたい。

9. 三室山の活用について

Q：三室山について、住民協議会でも観光化・活性化の材料に使いたいと思っているが、県の史跡であるので制約がある。活動費ももらえずに制約だけがあるので、指定範囲を限定的に解除するなど県に対し働きかけてほしい。

A：三室山については地域により長年守っていただいております。貴重な遺跡であり埋蔵文化財などもあり、なかなか文化財の解除は難しい。一度持ち帰り、何か方法がないか学芸員と相談したい。

10. にこにこ地域づくり交付金について

Q：にこにこ地域づくり交付金で買い物支援の事業を実施でき助かっている。一方で、交付金がなくなったらどうなるのか心配している。交付金の終了後は行政で考えてほしい。

A：交付金がなくなるからできない、ということはないようしっかりと繋いでいきたい。

11. まちづくり会館のバリアフリー化について

Q：まちづくり会館を利用する際、高齢者は靴を脱ぐのに苦労している。市の方で手すり等を設置していただきたい。

A：別の地区では、まちづくり会館を土足で利用できるようにしてほしいと要望があった。会館でも手すりを設置するなど、高齢化に合わせて改修できないか一度確認させていただき、できることから対応していきたい。

12. 外国人への支援について

Q：市内には外国人が多く暮らしていると聞いた。その方々が楽しめるイベントがもっとあれば良い。また外国人住民と市長と語る会をやると良いのではないか。

A：現在外国人は人口の1.5～6%まで増えてきている。様々な機会外国人の方が参画する場面も増えてきたように思う。話を聞きながら支援について考えていきたい。

13. 観光大使について

Q：市の観光大使について、先日中尾彬氏が亡くなったが、他にも様々な方に大使になっていただき市をPRしてもらえないか。

A：勝山大使については観光に限らず、バレーボールの三屋さんやバドミントンの長谷川さん、天竜さん、椎名誠さんなどを委嘱して様々なシーンでPRをお願いしている。今年は市制70周年なので改めて依頼したいと思っている。またオリンピックに出場予定の山口茜選手も積極的に勝山のPRをしていただいている。市制70周年ではアンバサダーとして大川はるなさん、多田京花さんをお願いしている。情報発信力の強い二人なので、色々な面でのPRを期待している。

14. 花を使ったまちづくりについて

Q：野向といえばコスモスといったように、地区ごとにイメージの花を設定し耕作放棄地に植えるのはどうか。

A：市内には桜の名所や水芭蕉、コスモス、ひまわりなどもある。各地区へ花を整備する助成もある。支援について検討したいが、にこにこ地域づくり交付金の使い道としても良いと思う。

15. スタンプラリーの提案について

Q：ここには素晴らしい縄文資料館があるが、他の地区にも貴重な史跡がある。小笠原家の廟所がある開善寺には、船底天井という素晴らしいものがある。そういったところを巡るスタンプラリーをしていろんな方に見ていただく機会を作ってはどうか。

A：越前大仏と勝山城博物館、ゆめおーれ、まほろばを回るクローバーチケットというものがある。それに、この縄文資料館や開善寺も回るようにできないか、スタンプラリーの提案があったことを担当と話をしてみる。

16. 縄文資料館の整備について

Q：縄文資料館を訪れた人に、より充実した案内ができるよう、映像資料や音声ガイドを整備できないか。まちづくり会館職員では上手く案内できない。また、車いすの方が資料館を目的に来られたが、階段を上がれずあきらめて帰ったことがある。資料館を1階におろせないか。

A：音声ガイドについては担当と話をさせていただく。あるいは、まちづくり会館の職員に対し研修をするなど考えたい。縄文資料館を1階へおろすことはいいアイデアだと思うが難しい。合理的配慮について今は良い方法がないが持ち帰りたい。